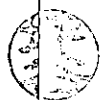




令和5年度
新潟県農業再生協議会
(令和6年3月22日開催)

議事録



令和5年度新潟県農業再生協議会通常総会 議事録

日時：令和6年3月22日

10時40分～11時15分

場所：新潟県自治会館201会議室

開会

- 令和5年度新潟県農業再生協議会通常総会を開会する。
- はじめに、本協議会の石山会長より、開会の御挨拶を申し上げます。

開会あいさつ（石山会長）

- 本日は御多用のところ、会員の皆様から御出席を賜り感謝申し上げます。
- 令和6年産の新潟米については、昨年11月の県協議会において、主食用米の生産目標を、54.6万トン、面積換算で99,900haと設定し、令和5年産から700haの転換に取り組んでいるところ。
- このため、令和6年産においては、これまで進めてきた非主食用米や輸入に依存する麦・大豆等の転換作物を定着させ、拡大させていくことが重要であると考えており、関係機関・団体で団結して、最後まで取組を進めていく必要がある。
- 本日は令和6年度の事業計画・収支予算について、委員の皆様からご審議を賜りたい。
- 本日御参集の皆様から忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます、開会のあいさつとさせていただきます。

事務局

- 本協議会は原則公開としており、議事録についても、「新潟米」情報センターのホームページに公開することとなっているので、承知願う。
- 本日の出席状況を別紙の出席者名簿で確認する。
～出席者名簿により出席報告～
- よって、規約第15条に基づき、本総会は成立しております。
- それでは、これからの進行について、石山会長にお願いしたいが、いかがか。

会員：異議なし

事務局

- それでは、石山会長にお願いします。

石山会長

- 次第に沿い、議事の進行を務めさせていただきます。
- なお、本日の議事録については、事務局で作成することとし、議事録署名人の選任については、慣例により一任いただきたいが、いかがか。

会員：異議なし

石山会長

- それでは、議事録署名人を新潟県主食集荷商業協同組合の関口理事長、新潟県土地改良事業団体連合会の坪谷専務理事にお願いする。
- それでは、議事に移る。第1号議案「令和6年度事業計画及び収支予算について」事務局から説明願う。

新潟県農林水産部農産園芸課 渡部課長

～第1号議案のうち、令和6年度事業計画（資料1）について説明～

J A新潟中央会農業地域対策部 小見部長

～第1号議案のうち、令和6年度収支予算（資料2）及び令和6年度新潟県農業再生協議会会費（資料3）について説明～

石山会長

- 第1号議案につきまして、御質問・御意見等を受け付けるが、いかがか。
- 御質問・御意見がなければ、第1号議案は承認としてよいか。

会員：異議なし

石山会長

- それでは、規約第15条に基づき、第1号議案は原案どおり承認された。
- 以上で、議事は終了する。
- 続いて、「その他」ということで、北陸農政局新潟県拠点の福井地方参事官から情報提供を願う。

北陸農政局新潟県拠点 福井地方参事官

～令和6年産に向けた水田農業の取組方針（資料4）について説明～

石山会長

- ただいまの説明について、御質問を受け付けたいがいかがか。

新潟県農林水産部農産園芸課 渡部課長

- 令和5年度の畑地化促進事業は全国からの要望が多く、令和5年度補正で予算総額を確保していたかと思うが、令和6年度の予算について情報があったら教えて欲しい。

北陸農政局新潟県拠点 福井地方参事官

- 令和6年度は全国で1万haほどの予算を用意しているので、またご要望いただければと思う。

新潟県 窪田農林水産部長

- 2点質問する。まず、1月末時点の令和6年産の作付意向が前年よりも増加傾向となった5県について、国はどのように捉えているのか教えて欲しい。また、増加傾向となった5県と5年水張りルールは、関連しているのかどうか教えて欲しい。

北陸農政局新潟県拠点 福井地方参事官

- 全国会議等で各県の状況等を報告いただいている。北海道、青森についても1月末時点でこういう状況ではあり、引き続き需要に応じた生産を心掛けていると伺っている。農林水産省としても、引き続き状況を把握していきたい。これで確定という訳ではないということをご理解いただければと思う。
- 水張りルールとの関係性については、ただちに我々ではこれが関係しているという理解ではない。

新潟県 窪田農林水産部長

- 今年度の産地交付金の減額調整について申し上げたところだが、令和5年度の新潟県の主食用米 100,600ha をベースに今後は見ていくのか。最初の発射台がずれていると、今後ボタンの掛け違いになってしまうので、教えて欲しい。

北陸農政局新潟県拠点 福井地方参事官

- 産地交付金の調整については議論させていただいたが、産地交付金への取組意向がある内容について配分させていただいた。しかし、取組内容が当初よりも少なかったため、再調整させていただいた。
- 今年産についても、産地交付金によって取り組む内容に応じて交付させていただく。
- 主食用米 100,600ha ではなく、産地交付金によって取り組む面積に対して交付している。

新潟県 窪田農林水産部長

- 本来そうあるべきだと思っていたが、昨年の説明では、非主食用米の面積で語らず、主食用米の面積で語っていたと私は感じており、その話が噛み合わなかったところ。本来、主食用米 100,600ha は産地交付金の配分算定に影響しないと思うため、国も県もそういう認識で今年はやっていただきたい。

北陸農政局新潟県拠点 福井地方参事官

- 理解しております。

石山会長

- それでは、「今後の取組について」、県農産園芸課の渡部課長から説明願う。

新潟県農林水産部農産園芸課 渡部課長

～令和6年産の需要に応じた生産に向けた今後の取組（資料5）について説明～

石山会長

- ただ今の説明について、御質問、御意見を受け付けるが、いかがか。
- 特に無いようだが、最後に他に何かあるか。
- 特に無いようなので、以上で終了させていただく。後は事務局に対応を願う。

事務局

- 閉会にあたり、新潟県農林水産部窪田部長から挨拶する。


閉会あいさつ（新潟県 窪田農林水産部長）

- 閉会にあたり一言御挨拶申し上げます。
- 本日は令和6年度の事業計画、収支予算を協議いただき、御礼申し上げます。
- 令和6年産の主食用米については、令和5年産から700ha減少させる目標としたところだが、5年産米の等級及び収量の低下や、全国的な米価の上昇もあり、農業者心理としては主食用米に回帰しやすい状況となっている。
- また、大手企業の賃上げにより、高価格帯米がまた売れるのではないかという憶測が大規模農業者の経営判断に影響するのではと懸念している。このような間違った判断が増産につながると米価が下落し、他業種の賃金が上がる中、農家の所得が下がるという格差が生まれることを心配している。
- 県では、令和5年度12月補正予算において高温・渇水に強い作物への転換支援事業を措置しているところ。このような施策が活用されるよう、関係団体からもご協力いただければと思う。
- 以上をもちまして、閉会のあいさつとさせていただきます。

事務局

- 以上をもって、新潟県農業再生協議会通常総会を閉じさせていただきます。

議事録署名人

関 口 眞 佐 徳 

議事録署名人

坪 谷 満 久 